

L P ガス C P 情報(2013年1月積み)

1. 1月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 955^{ドル} (前月比 -55^{ドル})ブタン 955^{ドル} (前月比 +5^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、供給が潤沢でタイト感がなく、先安感から市況は軟化して推移したが、最終週に反転した。CP先物市況は、バックワーデーション(期先安)が続いていたものの、寒波により需要が増加し、原油市況の反騰もあって月後半は反発した。ブタンについてはサウジが1月積みターム契約の増量を認めず需給が引き締まり、ブタン高、プロパン安が顕著になった。フレート市況は第3週に反転、FOB玉を持つトレーダーがFOBスポットからCFRに転換したためとみられている。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン5ポイントの下落、ブタンは1.3ポイント上昇。前年同月比ではプロパン12、ブタン5ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	38.6	37.8	40.8	40.7	39.5
CP先物指標:P	980	970	900	920	943
CP先物指標:B	920	950	905	940	929

② 原油市況等

原油市況をみると、12月のWTIは89^{ドル}、ドバイ107^{ドル}台でスタート、米国の財政の崖問題、株安、ドル高で軟化一時85^{ドル}台まで下落したが、財政協議の合意期待や地政学的リスクが下支えした。米国の原油生産量は増加し1994年以来の日量680万バレル、在庫は高水準が続いているが、留出油在庫は対前年比84%と減少、ヒートングオイルは高い。なお、WTIの建玉(総取組高)は150万枚を割り込んでいるが、大口投機玉ネット買い越しは16万枚から年末には19.8万枚に増加した。ドバイは103~107^{ドル}台、北海ブレントは107~111^{ドル}台のレンジで推移した。

○12月積みアラビアンライト(12月1~31日まで)は109.29^{ドル}(前月比-0.73^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン896.08^{ドル/トン} ブタン883.79^{ドル/トン}

AL比 プロパン106.58% ブタン108.06%

2. 2013年2月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日	86.55	82,655	82,655	-1,400	3,600
21~20日	87.26	83,300	83,300	-1,300	3,700
26~25日	87.82	83,900	83,900	-900	4,100
1~31日	84.64	83,900	80,500	-900	600

*TTS平均は1月7日まで、1~31日分はコスモ1月仕切に適用
コスモは前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。

*アストモスエネルギーは1月仕切から前月・当月CP50%案分型に変更、
詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意下さい。